

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

大学で英語を学びたいと考えており、国際主義教育を強めとする同志社女子大学を受験しようと決めました。また、留学を志望していたため、国際交流プログラムが充実しているところにも魅力を感じました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

どの教科も基礎を固めることを重視しました。基礎がしっかりできていないと、応用問題は解けないのでこの時期は、苦手教科から優先的に、基礎を固めることが大切だと思います。また、英語や古文は単語がわからないと読めないの、しっかり単語を覚えるようにしました。

〔夏休み〕

基礎を確認しつつ、応用問題にも挑戦するようにしていました。苦手教科は、わからない問題があればすぐに教科書や参考書を見直そうにしました。得意教科は少しでも点数を上げられるように応用問題をたくさん解きました。夏休みは長いようで短いので、計画をしっかりと立て、苦手をなくすことが大切だと思います。

〔2学期～入試直前〕

入試直前は、出題傾向や時間配分に慣れるために過去問をたくさん解きました。とき終わった後は答え合わせをし、解説をしっかりと読みました。できなかった問題は、何がわからなかったのか、どこで間違えたのかを分析するようにしていました。また、できるようになるまで解き直して、入試本番では同じような間違いをしないように心がけました。この時期に新しいワークや問題集を始め、わからない問題に出会うと不安になるので、同じ問題集を2、3周することをおすすめします。前回できなかった問題ができるようになっていいると、自分の成長を感じることができ、自信につながります。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

この一年は高校生活最後の年であり、学校の行事は全力で楽しむようにしていました。特に文化祭では、準備に積極的に参加しました。それによって勉強時間が減ってしまう時は、計画を立てて勉強するようにしていました。毎日問題集を何ページする、何ページまで単語を覚えきるなど具体的に計画を立て、それに従って勉強を続けました。健康面では規則正しい生活を心がけました。また、インフルエンザや風邪にかからないように手洗いうがいをし、しっかりとしました。テレビは一日一時間程度見ていたと思います。スマートフォンは必要以上に使わないように心がけ、勉強の妨げにならないように思っていたと思います。スランプの時は、音楽を聴いて気分転換をするようにしていました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

この一年は長いようで短い一年だと思います。成績が上がらなくて落ち込んだり、やる気をなくしたりする時もあると思います。その時に一番大切なことはあきらめないことです。この一年は辛いことも多いと思いますが、頑張ったら楽しい大学生活が待っている、志望校に行ける、と楽しいことを考えて頑張ってください。